

(参考様式 4 - 1)

桃ノ木原地区活性化計画 改善計画書

平成25年8月29日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
宮崎県	宮崎県・宮崎市	桃ノ木原地区	平成20年度～ 平成22年度	平成20年度
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
農用地等集団化	経営体育成促進換地等調整事業 20.1ha		宮崎市	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	2年	0年	0%	

2 目標が達成されなかった要因

事業採択に向けて地元調整を図ってきたが、公共下水道事業の施行に伴い、地域内における負担が増大したことや事業を推進する組織の役員就任に対する抵抗もあり、計画目標である平成24年度までの事業採択を達成することができなかった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	27年度
事業の推進体制	桃ノ木原地区地元代表者を中心に事業推進を図る。
具体的取組方策	本代表者を中心に事業化に向けた機運が徐々に高まってきていることから、県及び市等の関係機関による推進検討会等の実施により、地域の土地利用や営農構想を踏まえた事業計画の検討と併せ地元推進体制を構築し、平成27年度までの事業採択に向けた取組みを行う。

4 改善計画に対する第三者の意見

(コメント)
事業採択に向けた取り組みについては、公共下水道事業が平成24年に終了したのちに、平成25年1月から3回の地元検討会を開催するなど具体的な調整の動きがみられる。その結果、今後の地域農業の具体的な方向性も見え始め、そのための圃場整備やパイプラインとの接合等の必要性も認識されはじめている。
(九州大学大学院農学研究院 教授 福田 晋)